

11/30 地域課題解決に向けて パナソニックＩＴＳと協定締結

電機大手パナソニックグループで車載商品の設計・開発を行うパナソニックＩＴＳ（田辺孝由樹代表取締役社長）と町が包括連携協定を締結しました。

町が抱える様々な課題の解決に向けて協力することを目的としており、最初の取り組みとして、タクシー料金の低額化により住民や観光客の利用促進、利便性向上を図る「観光Maas（マース）」の実用化を目指します。



協定書に署名する田辺代表取締役社長（左）

11/20・29 部活の将来を考える 中学校部活動講演会

中学校の部活動の在り方を考える講演会が、虻田・洞爺の両地区で行われました。「部活動から新たな地域クラブ活動へ」をテーマとし、公益財団法人北海道スポーツ協会のクラブアドバイザー・熊耳雅美氏を講師に招きました。生徒の減少などで学校単独の部活運営が困難になっている現状が説明され、参加者は従来の部活に代わる活動について全国の事例を学びました。



▶講演会動画



部活動を取り巻く現状と将来について学んだ講演会

12/4 白熱のラリーを展開 町民ミニバレー大会

地域住民同士の交流を目的とした町民ミニバレー大会（洞爺湖町体育振興連絡会主催）が行われました。

12チームが出場し、リーグ戦を行いました。各チームは息を合わせてボールをつなぎ、勝利を目指しました。大会の後は互いのプレーをたたえ合い、親睦を深めました。

熱戦の結果、洞爺地区から出場した「あんぱん」が優勝しました。



ミニバレーで交流を深めた参加者

12/1 地域的美観維持に貢献 荒井建設に感謝状贈呈

町の清掃活動に尽力した荒井建設（旭川市、荒井克典取締役社長）に、町が感謝状を贈呈しました。

同社は昨年夏から秋にかけて、西山火口や本町の草刈りボランティアを行い、町内の景観保全に貢献しました。

当日は、三國吉典札幌支店長、高畠信一社長、佐藤慎一函館営業所長が役場を訪れました。下道町長から感謝状を受け取った三國支店長は「地域に貢献できてうれしいです」と話しました。



感謝状を受け取る三國札幌支店長（右）

12/5

冬は火元にご用心 入江4区自治会が夜回り

入江4区自治会（佐藤義昭会長）が、地域の夜回りを行いました。
冬場の火災予防や防犯を周知するために、11月から12月にかけて複数回に分けて実施されました。
集まった自治会員は、拍子木を打ち鳴らしながら地域を巡回。冬の夜の厳しい寒さにも関わらず、火の取り扱いや戸締りなどの注意を懸命に呼びかけていました。



拍子木を鳴らして「火の用心」を呼びかける参加者

12/5

企業版ふるさと納税 アットシステムが100万円寄付

企業版ふるさと納税制度を通して町に100万円を寄付した不動産業のアットシステムに町が感謝状を贈呈しました。
同制度は、企業が本社所在地以外の自治体に寄付すると法人税などが軽減されるもの。同社は入江地区に洞爺オフィスを構えており、町のゼロカーボンシティ推進を応援する思いから寄付を行いました。
下道町長は「ゼロカーボン施策のための関連事業に活用します」と謝辞を述べました。



感謝状を受け取る鈴木智也常務取締役（右）

12/11

いつもの駅がライトアップ 洞爺駅イルミ点灯

JR洞爺駅のイルミネーション点灯式が行われました。
点灯式には、町内の小学生などが出席。一斉にスイッチを押すと、駅舎前面に設置された約1万5千個のLED電球が光り輝き、集まった人から歓声が湧き上がりました。
点灯式では、洞爺地区在住のバイオリニスト、齋藤真知亜さんと律子さんの夫婦による演奏もあり、会場に花を添えました。点灯は2月29日まで行われます。



今季の点灯が始まった洞爺駅イルミネーション

12/10

財田米の味を引き出そう ごはんのおとも講習会

財田米の美味しい食べ方を学ぶ「ごはんのおとも講習会」が行われました。
洞爺湖温泉で和食店「湖の膳舎なかむら」を営む中村悠佑さんと美佳さんの夫婦が、土鍋の使い方やごはんに合うおかずについて解説しました。
悠佑さんは料理を作りながら「財田米はツヤ、味、香りがとても良いです」と魅力を語りました。試食したフードライターの小西由稀さんは「地元に愛されるお米になってほしいです」と話していました。



財田米の美味しい食べ方を学んだ講習会